

会議録

会議名	第3回 港区災害廃棄物処理計画策定支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和3年2月25日(木) 午前10時～正午
開催場所	芝浦区民協働スペース(みなとパーク芝浦1階)
委員	田中充委員、新井樹夫委員、多島良委員、武田和彦委員、鈴木健委員
事務局	環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 第二次審査実施概要について</p> <p>(2) 第一次審査通過者によるプレゼンテーション及びヒアリング</p> <p>(3) 第二次審査結果及び事業候補者の選定について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 第2回選考委員会議事録(案)について</p> <p>4 閉会</p>
送付資料	<p>資料1 第二次審査実施概要</p> <p>資料1-2 当日の注意事項「事業者のみなさまへ」</p> <p>資料2 第二次審査表</p> <p>資料3 第二次審査・総合結果</p> <p>資料4 第2回選考委員会 会議録(案)</p> <p>参考資料1 第一次審査集計結果</p> <p>参考資料2 事業候補者募集要項(仕様書(案)、選考基準を含む。)</p>
会議の結果及び主要な意見	

(発言者)	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 第二次審査実施概要について (資料1・1-2、資料2に基づき事務局説明)</p>
委員長 各委員	事務局の説明は終わりました。質問はありますか。 (質問なし)
委員長	ではここから、プレゼンテーション及びヒアリング終了までは、事務局にて司会進行をお願いします。
	<p>(2) 第一次審査通過者によるプレゼンテーション及びヒアリング</p> <p>事業者A入室</p>
事務局	これからプレゼンテーションを実施します。事業者は説明を開始してください。
事業者A	事業者Aによるプレゼンテーション(15分間)
事務局 A委員	では、各委員から質疑をお願いします。 3点伺います。 まず、港区という土地柄、仮置場を設置することが困難な場合も想定されますが、結果としてどのようにまとめていくのでしょうか。 次に、地震や、水害等でタイムラインが異なるとのご説明でしたが、何種類程度のタイムラインを予定していますか。 最後に、災害対応力向上に向けての平時の備え及び人材育成として、研修や座学、ワークショップを提案されていますが、策定された計画は、これら座学等ができるようになるという内容の掲載になるのでしょうか。
事業者A	仮置場について、災害廃棄物対策指針で示されている方法で行っていくと、足りなくなる可能性もあると考えています。処理速度を考えて仮置場の量を出すことが大事であり、ピーク時にどれだけ必要になるか、検討する予定です。公有地を優先的に考え、その次に民有地も検討します。 次に、タイムラインについては域内処理ができるのか、またどれだけ被災者数が発生するのか、といった点を考慮することが重要だと考えます。タイムラインの種類は2種類です。 最後の座学等についてですが、区との意見交換ののちに提案することを考えていますが、プログラムを作るということまでは考えておらず、PDCAサイクルの回し方等の記載を考えています。
A委員 事業者A	域内処理についてですが、域内とはどこを指していますか。 域内は港区内を考えています。より広いものとして23区、そして広域として23区外ととらえています。
B委員	2点伺います。 まず、住民対応として、住民への周知・広報、災害ボランティアの安全かつ効果的な

	<p>参画と掲げられていますが、概念的なので具体的に教えてください。</p> <p>2点目として人材育成の観点から、住民対応や住民啓発を含めた人材育成をどのように進めていくのでしょうか。</p>
事業者A	<p>災害ボランティアに関する点として、近年、ボランティアに参加された方へのヒアリングを行っています。ボランティアからは、初動時における仮置場の状況を災害ボランティアに伝えてほしい、持ち込んでよいごみはどういったものか、といった意見等がありましたので、本計画に落とし込みたいと考えています。</p> <p>また、人材育成に関しては、発災後の情報の連絡手段を確立したいと考えています。災害廃棄物の出し方をカレンダーに記載するという自治体もありますので、平時の出し方や災害時の出し方を両方記載することにより人材育成につなげていきたいです。</p>
C委員	<p>3点伺います。</p> <p>まず、タイムラインを整理するとありますが、タイムラインを災害廃棄物処理計画に掲載することの意義をどのようにとらえているのでしょうか。</p> <p>次に、がれき処理等の流れにおいては、住民が地区集積所に持ち込み、それを一次仮置場に運ぶことが考えられますが、地区集積所は区民が自主的につくるものか、区がつくるものか、考え方をお聞かせください。</p> <p>最後に人材育成の観点から、3年間程度かけて実力等をつけていくのか、人事異動等も考慮し、1年である程度力がつくように検討するのか、お聞かせください。</p>
事業者A	<p>タイムラインの掲載についてですが、ただ災害廃棄物処理計画を順に読むだけではなく、タイムライン上にガイドをつけて、そのガイドのページ・項目を読んでくださいといった体裁とすれば、何をすれば良いか見えてくるものとなり、災害時にも活用できるものになります。こうした点からもタイムラインは重要であると考えます。</p> <p>地区集積所に関してですが、特別区のガイドラインはスキームが十分ではないように感じられますので、例えば誰が管理するのか、事業者なのか区なのか、また何人配置するのか、等明確性を持たせた計画としていきます。</p> <p>人材育成については、1年という短い期間では難しい点もあると思いますが、やるべきことの大切さや、何を行うべきなのかを伝えたいと思っています。</p>
D委員	<p>見える化や分かりやすさの重要性についての記載がありますが、どのように工夫してもらえるのでしょうか。また、なぜ見える化、分かりやすさが重要なのでしょうか。</p>
事業者A	<p>目次の單元ごとに要約をつけるようにしていますが、文章を一から十まで全部読むのではなく、要約を読むだけでもわかるようにしています。また、過去の事例等をコラムとしてあらわすのも興味を持ってもらえると考えています。</p> <p>見える化し、分かりやすくすることで、やらなければいけないことが明確化され、認識してもらうことができます。災害は起こるものであり、平時から、災害廃棄物処理についても取り組んでいくことが重要です。そのことを認識してもらうために、見える化、分かりやすくすることを進める必要があります。</p> <p>計画というと、どうしても文章が多くなりがちですが、フローや写真の多用、コラム等の活用によって、イメージでも分かりやすくしたいと考えています。</p>
D委員	<p>内容面では、何か考えている工夫はありますか。</p>
事業者A	<p>例えばタイムラインなど、主語、述語があいまいになりがちなので、はっきりさせていきます。</p>
E委員	<p>港区の特徴を踏まえた上で、その内容を区の災害廃棄物処理計画にどのように反映させていきますか。また、これまで他自治体での計画の実績がありますが、一番参考に</p>

事業者A	<p>なりそうな自治体はどこでしょうか。それはなぜそのように考えるのでしょうか。例えばハザードという観点からは、どこで浸水が起きやすいのか、揺れが多いのか、災害廃棄物の発生量を検討する上では、そういった地形の特徴を盛り込みたいと考えています。また、同じ港区内でも住んでいる地区間で違いがあり、台場は少し離れているなど、立地の面からも輸送ルート等を考えなければなりません。</p> <p>参考になりそうな自治体について、一つに絞り込むことは難しいのですが、例えばある自治体は2年がかりで策定し、廃棄物部局だけでなく他の部局についても役割をまとめました。また別の自治体では、仮置場を定め運搬ルートも決めました。こうした各自治体の良い部分を港区の計画でも生かしたいと考えています。</p>
事務局	<p>時間になりました。質疑応答は以上です。</p> <p>審査はこれで終了となりますので、片づけをしてご退室ください。</p> <p>ありがとうございました。</p>
事務局	<p>事業者A退室</p> <p>委員の皆さんは、事業者Aの採点をお願いします。</p>
事務局	<p>事業者B入室</p> <p>これからプレゼンテーションを実施します。事業者は説明を開始してください。</p>
事業者B	<p>事業者Bによるプレゼンテーション（15分間）</p>
事務局 A委員	<p>では、各委員から質疑をお願いします。</p> <p>2点伺います。</p> <p>まず、初動対応において優先すべき業務の考え方に関し、各関係者との連携について記載いただいておりますが、実際に連携していくに当たってどのように行うのか、工夫点を教えてください。</p>
事業者B	<p>もう1点は、仮置場について、港区では設置が難しいことが想定されますが、どのように計画として落とし込んでいくのでしょうか。考え方をお聞かせください。</p> <p>各関係者との連携について、例として清掃一部事務組合との協力は必須だと考えており、普段から港区から廃棄物を受け入れている施設とは災害廃棄物の受け入れについても確認していきたいと考えています。また、東京都産業資源循環協会は東京都と協定を締結していますので、港区の廃棄物の処理についても協力をお願いできないか、検討していきます。</p> <p>災害廃棄物処理計画の策定に関しては、仕様書でも、複数回会議体にかけることが記載されていたので、そうした機会にも同席いただけるか、働きかけを検討していきたいと考えています。</p>
B委員	<p>2点伺います。</p> <p>まず、初動対応に関し、生活ごみ・避難所ごみ・し尿への対応として「貴区の特性や不測の事態も留意した内容を検討します」とあり、これはリスクマネジメントかと思</p>

事業者B	<p>いますが、具体的なイメージを教えてください。</p> <p>もう1点、区民との関係では、災害ボランティアとしての区民、外国人も含めた周知啓発対象としての区民がありますが、いまお考えいただいているのは、区民への参画と協働まで含めたアプローチなのでしょうか。</p> <p>1点目についてですが、例えば、港区を含め23区は下水道普及率が100%であるため、災害が発生した際のし尿の処理が課題となります。また、港区は都心であり、高層ビルが多い点が挙げられ、災害時にどのような被害が発生するのか、イメージを持っておくことが重要です。こうした点が港区の特性ではないかと考えています。</p> <p>2点目について、普段から区民の皆さんには災害時の分別などについてイメージを持ってもらうことが必要であると考えており、例えば、ワークショップ等を行うことが一つの方法として考えられると思います。</p> <p>特定のボランティア団体との連携というのは特に現時点で考えておりませんが、港区との協議において指示があれば検討を進めたいと考えています。</p>
C委員	<p>3点伺います。</p> <p>まず、地区仮置場というものをどのようにとらえているのか、イメージを教えてください。</p> <p>次に、図7として「災害廃棄物発生量の時間経過と代表的な災害時対応（イメージ）」がありますが、課題をどのように整理してこの図を描いたのか、考え方を教えてください。</p> <p>最後に、災害廃棄物処理計画の見直しに関して、人材育成と処理計画の見直しは、接点があるのではないかと考えているのですが、そのあたりの考え方について教えてください。</p>
事業者B	<p>地区仮置場については、特別区のガイドラインにおいて応急仮置場、地区仮置場、一次仮置場が定められており、うち地区仮置場については、住民が片付けごみを搬入する仮置場と認識しています。</p> <p>次に、図7に、片付けごみとして発生量の10～20%、撤去ごみ（がれき）として発生量の80～90%と記載しましたが、これは平成28年熊本地震の実績を参考に記載しています。また、時系列についても、水害については片付けごみの排出は水が引いたら直ちにですが、概ね1週間程度で本格化されるなど、過去の実績をもとに作成しています。</p> <p>最後に、人材育成と処理計画の見直しは非常に関連の高いものと考えています。人事異動があったとしても、どの職員でも対応できるように体制を整えていくことが最優先であると認識しており、こうした考え方において人材育成を行っていけば、処理計画の見直しを行うに当たり、マニュアルを整理する場合でも、計画の考え方を大きく変更する場合でも、対応できると考えています。</p> <p>災害発生時に迅速に対応できるためにも、読み合わせを行い、必要に応じて見直しを行うことが重要だと認識しています。</p>
C委員	<p>3点目について、処理計画の読み合わせを毎年行う中で、その中で課題を抽出し、計画の見直しにつなげていくという理解でよろしいでしょうか。</p>
事業者B	<p>読み合わせにおいて計画の内容を確認していく中で、まだ実現できていない項目の共通認識が持てます。進行管理上遅れていることがわかるのであれば、次年度、検討を進めていこうといった認識を持つことができると考えています。また、セミナーへの参加などをとおして、被災自治体の住民の方から知見を伺うことにより今後にか</p>

D委員	<p>ことや、図上演習などで得たものを反映させていくことも考えられるかと思います。2点伺います。</p> <p>まず、身近な場所に仮置場をつくることは都会では難しいと考えていますが、どのようなアイデアがあるのでしょうか。</p> <p>もう1点は、「災害時に発生する災害廃棄物量の排出抑制のため、区民に対して日頃から自宅内の不要物の処分（退蔵品の整理）を呼びかけ」とありますが、出そうでなかなか出ない発想だと思います。自治体において先行した事例があるのかお聞かせください。</p>
事業者B	<p>まずは、生活ごみと避難所ごみを止めずに、片付けごみを処理することを前提とすると、生活ごみと片付けごみを混在化させることは避けなければなりません。その上で、災害廃棄物対策指針に記載がありますが、例えば自宅の敷地の中に片付けごみを置いてもらう、といったことなどが考えられます。</p> <p>その他、身近な公園に出してもらう方法もあり、令和2年7月豪雨では、熊本県八代市では分別が比較的うまくいっています。平時から分別のお願いをすることで、ごみの混合化を防ぐことにつながります。</p> <p>2点目の退蔵品ですが、八王子市において例があります。周知・広報を始めたばかりなので効果検証はこれからですが、平時から案内を出しています。</p>
E委員	<p>2点伺います。</p> <p>まず、災害ボランティア団体との連携に関する成功事例に関し、「成功の背景は戦略立案の段階から災害ボランティア団体が関与していた」とありますが、今回の提案に当たって、災害ボランティアに計画段階から関与してもらうことは想定していますか。</p> <p>次に、計画は策定後、定期的に見直しをすることが必要となりますが、中規模な見直し、大規模な見直しなど、どの程度の期間ごとに行うことを考えていますか。</p>
事業者B	<p>計画の策定に当たって特定の災害ボランティア団体に関与してもらうことは現時点では考えていませんが、過去にも様々な団体と関わってきていますので、港区からの推薦等あれば意見を聴取するなど、検討していきます。</p> <p>また、計画の見直しに関しては、理想としては災害が起こった都度、他自治体の知見も参考に見直しを行いたいと考えていますが、少なくとも、3年に1回ですとか、大きな災害が起きたとき、指針が改訂されたときなどには、見直しを行いたいと思います。</p>
事務局	<p>時間になりました。質疑応答は以上です。</p> <p>審査はこれで終了となりますので、片づけをしてご退室ください。</p> <p>ありがとうございました。</p>
事務局	<p>事業者B退室</p> <p>委員の皆さんは、事業者Bの採点をお願いします。</p>
委員長	<p>(3) 第二次審査結果及び事業候補者の選定について (資料3に基づき事務局説明)</p> <p>事務局からの説明は終わりました。先日の第一次審査、また本日の第二次審査とも事</p>

A委員	<p>業者Bの方が高い得点となりました。したがって、総合結果として事業者Bが高得点で、事業者Bと事業者Aの得点は少し差があります。</p> <p>それでは、各委員から講評をお願いします。</p> <p>質疑応答について、事業者Aは統括責任者が概ね対応しその他の担当者が一部補足する、といったものでしたが、事業者Bについては3人全員で対応するなど、チームワークの良さを感じました。また、説明、内容についても事業者Bは分かりやすいものでした。</p>
B委員	<p>事業者Bについて、内容のほか、質疑応答でも全身体制で臨む姿勢も評価できると感じました。一方事業者Aについて、統括責任者だけでなく担当者からの説明もありましたが、提案内容は分かりやすさの面で提案書を超えるものではありませんでした。</p>
C委員	<p>事業者Bはチームとしてうまく対応していることや、プレゼンテーションにおいても、事業者Aに比べて事業者Bは相手に伝えようという気持ちが伝わり、評価できました。事業者Aについては、より端的な応答だとなお良かったかと思えます。</p>
D委員	<p>事業者Aも一定の評価ができますが、それ以上に事業者Bが素晴らしかったです。特に分かりやすさの点では、プレゼンテーションもそうですし、こちらが求めている内容の意図も把握できていましたので、今後の計画策定に当たっても分かりやすいものが期待できます。</p>
E委員	<p>事業者Bの方が、伝えようとする意欲もあり、質問に対する応答も、意図を理解した上での的確に回答してもらったと思います。本業務を受託した場合にも、委託者の意図をくみ取った上での計画を作ることができると評価できます。事業者Aについては、質問への応答はやや不的確であり、説明も冗長な場面がみられました。</p>
委員長	<p>それでは、この結果を審査結果とし、本業務委託の事業候補者を事業者B、次点候補者を事業者Aとすることによろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
委員長	<p>それでは、当委員会として、港区災害廃棄物処理計画策定支援業務委託事業候補者を事業者Bとします。</p>
各委員	<p>3 その他</p> <p>(1) 第2回選考委員会議事録(案)について (資料4に基づき事務局説明)</p> <p>資料4の内容で了承</p>
	<p>4 閉会</p>